FREE　ご自由にお持ちください。

表紙：「施設長の挨拶」　見開き：「素顔」「良か活動」「新人職員紹介」　裏面：「管理栄養士 奮闘記」

新施設長のご挨拶

４月１日付けで着任しました兼市と申します。

入職 30 年目になりますが、現場のことについては、まだまだ勉強していくことが沢山あります。少しずつフロアをラウンドし、入居者様のお顔を見て、何らかの形でコミュニケーションを取っていければと思います。まだ実感が湧きませんが、責任の重さを感じ始めてきたところです。

堅い話はさておいて、最近、子供の野球の手伝いをしている時、ふくらはぎの後ろが『ピキッ』と…案の定、肉離です。日頃の運動不足で覚悟はしていましたが…　皆さんも、たまに運動する時は充分なウォーミングアップを行い、怪我をしないよう心掛けて下さい。何かとストレスが溜まってしまう毎日ですが、発散できる事を見つけ出し、前向きな気持ちで進んでいきましょう!!　もう少しの辛抱です!!

前施設長のご挨拶

副施設長も含め、８年間ハトホームに勤めさせていただきました。

この ８ 年間ご入居者、ご家族、職員の皆様から頂いた温かいご支援に、心より感謝いたしております。

「人新生」と言う言葉が使われ、社会のありようや私たちの暮らしの営みについて、社会の繁栄や危機までも考えざるを得ない時代になりました。福祉施設は社会状況や環境の変化に影響を受けやすく、時に進むべき方向を見失いそうになりますが、村山苑の理念を羅針盤とし、兼市施設長のもと一丸となって目標達成に向け、様々な課題をしなやかに克服しますことを祈念しております。

在任中は大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

《 専門職コーナー　松川美恵 》

～ 華麗なる奮闘記 ～

スラっとした背丈に、白衣姿…
一瞬、お医者さんかな？と思うかもしれませんが…違います。
ハトホームの管理栄養士、松川美恵さんです。

料理をする事、食べる事が好き！という事で、いろいろと食事に関する勉強をし、管理栄養士の仕事に就く事となったようです。

そんな松川さんは、入居者の皆さんの健康を維持する上で、とても大切な役割を担っています。栄養のバランスがとれた食事にするのは、もちろんですが、『飽きが来なく、皆さんから喜ばれる美味しい食事』を心がけているそうです。実現するには、調理場との連携が欠かせません。美味しく味付けができているか、どのように盛り付ければ美味しく感じるか…一緒になって、日々考えます。

また、入居者の皆さんの体調や状況の変化に応じた食事を提供する事も大切です。実際に食事の輪に入って、介護職員、看護師、ケアマネージャー…様々な職場の仲間との情報交換が欠かせません。

「あなたはあなたの食べたものでできている」と言われます。皆さんも、食事に気を使っていますか？
心配な事があれば、松川さんに相談して、良い食生活を送り、健康生活に繋げていきましょうね～

新型コロナウイルス感染症禍における様々な自粛へのご協力に感謝いたします。
ハトホームでは、５月 11 日より〝新型コロナワクチン接種〟を開始しました。
６月には２回目の接種を予定しております。まずは一安心の状況ではありますが、引き続き、感染予防に努めていきます。今後ともご協力のほどお願いいたします。

《発行》　社会福祉法人　村山苑
特別養護老人ホーム　ハトホーム
発行責任者　兼市琢磨
《編集》　ハトホーム　広報委員会
〒１８９－００２４　東村山市富士見町２丁目７番５号
TEL　０４２－３９３－７５７４
https://www.murayamaen.or.jp/hatohome/
2021 年５月末日　発行

お知らせコーナーも
随時更新しています。
ぜひご覧ください。

※写真・作品は、個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ掲載しています。

「入居者さんの素顔」

自立心の旺盛な照夫さん。
〝できることは自分で〟と、自由になる右手をフル活用。
ひとりでなんでもやり遂げる頑張り屋さんです。

そのうえ、他人の役に立つことが生き甲斐のようで、労をいとわず進んでお手伝い。
気配り上手な人柄に、女性入居者の好感度はハイレベル。
あちこち談笑する姿を見かけます。
今日も車椅子を操りフロアの巡回をして、困りごとを抱えた人をお助けしています。

「えらいねぇ～」
褒め上手な博子さん。
いつも気持ちを明るくしてくれています。

好きなことは〝笑うこと〟〝歌うこと〟
〝ドリフの大爆笑〟や〝バカ殿様〟を見るときには、大きな笑い声が響きます。

「こんにちは、こんにちは、世界の国から♪」
一緒に〝大阪万国博覧会のテーマソング〟を歌っていた職員には
「よぉ～く知ってるねぇ」「どぉ～して知ってるのぉ」
博子流〝よいしょ〟が炸裂。　みんなを笑顔にしてくれています。

「良か活動」～ レクリエーション活動へのオモイ ～

「今日は何日でしょぉーか？」

K職員おなじみの〝つかみ〟の問いかけに、あちらこちらから声があがります。

「15日」　「土よぉ～びぃ」　「5月」

「お昼は何を食べましたかぁ？」

「お寿司」「うなぎ」「カレーライス」　「豆大福」

それぞれに〝食べたいメニュー〟でしょうか？

矢継ぎ早の問いかけにも、鋭い答えが返ってきます。

〝答えが合っているか〟なんてことにはお構いなしに
笑顔で進行するK職員。

手遊び指遊びの途中で、隣の人との話が盛り上がって輪から抜ける人。
始まった合唱にも、じっと黙っているけれど、その場を離れない人。
遠巻きながらも、熱い視線を送っている人。
参加の仕方は人それぞれ、それがとても良い雰囲気を創り出しています。

高尚な〝レクリエーションの効果〟のような理論はとりあえず脇に置いておいて、
〝余暇活動〟が皆さんの生活に〝良か活動〟になればとのオモイで取り組んでいます。

新人職員 紹介コーナ

嬉しいことに、この１年の間で
多くの職員を迎える事ができました。
数回に分けて、ご紹介させていただきます。

【 ２階　介護職員　佐藤 賀津也 】

前職では、ユニット型特養にて介護職員として働いていた事もあり、従来型特養のハトホームでワンフロア４６人の入居者の方達を前に働き、日々様々な情報や変化に対応していく働き方に最初は戸惑うところもありました。しかし、そのような中でも入居者の方の生活を尊重し、尊厳を守るという姿勢は決して見失わないように邁進しております。これまでの経験を活かし、職場の仲間と活発なコミュニケーションを取りながら、お互いに高めあい、入居者の皆様の生活をよりよいものにしていけるよう、頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【 ３階 介護職員　荒井 信行 】

７年間グループホームにいた私は、採用試験時には救護施設を希望していましたが、法人の意向でハトホームにてお世話になる事となりました。介護学校の先輩のお話だと、特養の仕事は日々の業務に追われて、入居者の方とお話したり、触れ合える余裕はないと聞いていましたが、入職してみるとそんな事はない、というポジティブな認識に変わりました。これからも、自分なりに工夫しながらそのような時間をつくっていきたいと思っています。介護経験については、まだ未熟なところがありますので、早く先輩達に追いつき、追い越せで頑張っていきたいです。